

執筆者紹介（掲載順）

- 城 阪 早 紀（本学大学院博士後期課程在学学生）
小 森 一 輝（大阪府立茨木工科高等学校教諭）
永 田 郁 子（同志社大学大学院博士前期課程修了）
李 春 草（本学大学院博士後期課程在学学生）
山 田 哲 久（同志社女子中学校・高等学校教諭）
久 留 島 元（同志社大学大学院博士後期課程修了）
山 田 和 人（本学教授）
瀬 崎 圭 二（本学准教授）

編集後記

本号は中世、近世、近代、国語教育の論文と教育実践報告、そして翻刻とインタビュアの計八本で構成した。当初はどれくらいの本数が集まるか不安であったが、予想外に多くの投稿をいただき、まことに多彩な内容となった。インタビュアは過去の目次を見る限りこれまでなかったようなので、新しい試みと言える。また国語教育に関する二本は、教育実習の授業を担当する立場としても大変心強い。今年八月に免許資格課程センターにおいて本学出身の現職教員・教職大学院生が現役学生に話をする「キックオフ・ミーティング」が開催された。今後段階的に同志社大学出身教員のネットワークを作っていくための試みだったらしい。他大学においてそうであるように、国文学会もまた本学出身の国語科教員をつなぐネットワークとしていつそう活用していただけるとありがたい。